

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2011 2.10
No.1020

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

27春をよぶ愛知集会

- 2月27日(日)
10:30~
- 名古屋市・久屋広場

集会とあわせて看護師増員署名宣伝行動を行い、30分
145筆を集めました。



医療従事者の増員なくして 安心・安全の医療はできない

自治労連は1月30日、地域医療と公立病院の充実を求める「いのちと地域を守る学習・意思統一集会」を開催し、18都道府県から70人が参加しました。基調報告で高田憲法政策局長は、「医療従事者の増員なくして安心・安全の医療の確保はできない」とあらためて強調し、医師、看護師、医療従事者を増やせの運動を、職場と地域そして全国規模で行うことを柱に具体的な取り組みが提起されました。

「看護職員の労働実態調査」アンケートの中間集計報告では、9167人分の回答が寄せられ、72%が仕事のやりがいを感じながらも、一方で80%が仕事を辞めたいと思うと回答しており、看護師がいかに過酷な労働環境に置かれているか具体的に明らかとなりました。

「看護職員の労働実態調査」アンケートの中間集計報告では、9167人分の回答が寄せられ、72%が仕事のやりがいを感じながらも、一方で80%が仕事を辞めたいと思うと回答しており、看護師がいかに過酷な労働環境に置かれているか具体的に明らかとなりました。

「政策と民主党の「新成長戦略」「地域主権改革」が一体であり、それらの攻撃のもとでも全国的な運動による反撃がすすんでいると報告。千葉から公立病院と地域医療を守る住民運動を、住民団体と自治体労働組合とが共同で県内全域の連絡会として運動をすすめていることが報告されました。京都市職労からは、京都市立病院の独立行政法人

化にたいし、地域住民と一緒に闘って反対運動にとりくんだもとの、独法化は阻止できなかったが、しかし「地域の政策医療は交代させない」「経営効率化を優先しない」などの成果を勝ち取ったこと。都庁職病院支部からは、病院支部で独自にとりくんだ16時間夜勤疲労度調査の結果について報告が



集会では各地の地域医療を守る運動が報告された

11春闘

雇用確保と賃上げを全面にかかげて

自治労連は1月27日、28日、第42回中央委員会を開催し、2011年国民春闘方針を確立しました。

野村幸裕委員長は「11春闘は雇用確保と賃上げを全面に掲げる春闘であり、労働者と国民との共同を広げていかなければならない」と強調し、「公務員の賃下

げ法案は民間に先行して賃下げサイクルをつくるもの。憲法キヤラバンや地域総行動、「対話と提言」の運動で世論を広げていこ

う」と語りました。また、11春闘課題においては、「農業と国のあり方を崩すTPP、子どもたちの権利をないがしろにする」新システムを推進する

賃下げ法案に反対する「職場決議」 「要求署名」にとりくもう

民主党政権は「国家公務員人件費2割削減」の Manifesto をごり押ししようと、人事院勧告を無視して賃金を下げる『賃下げ法案』を、今国会に提出しようとしています。給与のみならず、退職手当、共済年金、定員、地方移管などで人件費2割削減をすすめるとしており、私たちの生活だけでなく、住民サービスに与える影響も甚大です。

自治労連は労働基本権回復の運動と併せ、この『賃下げ法案』に反対するたたかいを最大限の力を駆使してとりくみます。

全ての単組・支部・補助組織から賃下げ法案に反対する「職場決議」にとりくみます。2月18日までに自治労連本部に送付します。

2月中旬から公務員賃金の引き下げに反対する「要求署名」にとりくみます。組合員だけでなく、組合員の家族、管理職、非組合員も対象とします。

2月18日まで全国でとりくむ「ストライキ批准投票」を全組合員参加でとりくみ、高率での批准をめざします。

すべての労働者を 視野に

たたかいは強めよう

討論では30人が発言し、名古屋市職労からは、市民

討論を受け、猿橋書記長は、正規・非正規が一体となったたたかいは広がりをみせており、組織拡大につながっているとし、「すべての労働者を視野に入れ、たたかいは強めていこう」と語り、「この中央委員会では各地で挑戦課題が広がっていることが明らかにした。政治が悪ければ政治が変わる時代になり、運動の成果が政府や自治体の方針を変えている。そのことに確信を持ち、運動をすすめていこう」と述べました。

県本部組織集会

2月19日(土)~20日(日)

14:00開会

蒲郡「ホテル竹島」

愛労連

パート・臨時労組連絡会
第7回総会

& 第15回元気の出る集会

2月27日(日) 13:30~
労働会館東ホール

自治労連・東海北信ブロック

青年学習交流集会in阿智村

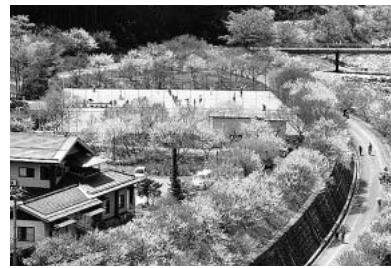
長野県

阿智(あち)村は長野県の南端にある人口約7000人の村です。年間70万人が訪れる昼神温泉を有し、お肌がツルツルになるお湯が自慢です。四季折々の自然が楽しめるスポットから歴史的にも貴重な史跡まで

見所満載です。笹に覆われた山体が美しい富士見台高原、源氏物語に出てくる史跡や、最近パワースポットとして有名な戸隠神社に併社している阿智神社。その上、夕日でピンクに染まる南アルプスや、水面に映る

紅葉など、日常の1コマがなんとモステキなところですよ！
そんな阿智村の村づくりの理念は「住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくり」です。住民自らが主体的に地域づくりや自己実現にとりくみ、行政はその支援をするという姿勢を貫いています。

これに村づくりに関わるチームに5人以上でとりくむ際、村から研究や学習にかかる費用を補助するものです。これまでこの制度の利用を出発点に、図書室や障害を持つ方の働き場所ができるなど、活用成果があがっています。



阿智村の花桃まつり



青年集まれ〜!

2011年3月5日〜6日

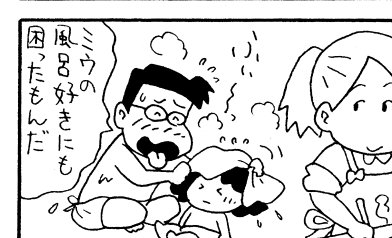
「あちあちセミナー」

訪れるたび魅力がわかる
阿智村へおいでなんしょ

訪れるたび魅力がわかる 阿智村へおいでなんしょ

訪れるたび魅力がわかる
阿智村へおいでなんしょ

家族探検



自治労連共済の火災共済は安い!
1口(耐火)保障額
2.5万円/月で最高10万円

すべての労働者の賃上げを

最低賃金生活体験スタート

2月1日から1ヶ月間「最低賃金生活体験」がスタートしました。自治労連愛知は、40人がチャレンジします。
昨年とりくんだ最低生活調査では、名古屋市内在住の25才単身者で月額223539円・時給1286円(愛知の最賃745円)が必要なのが明らかとなりました。
この結果からも憲法25条に保障された最低限度の生活を送ること、人前に出で恥ずかしくない生活

維持には、現在の最低賃金額では、とても十分なことばかりです。今春闘では、労働者のふところをあたため、消費を拡大し、景気を回復させましょう。未組織・非正規をふくむ「すべての労働者の賃金底上げ」を勝ちとるたたかいを展開しましょう。
最賃生活体験とあわせて、「最賃引き上げと中小企業支援を求める署名」などのとりくみを積極的にすすみましょう。

実行委員長の加藤有香さん(名古屋市長選)からひとこと
この阿智村に行くという企画の趣旨は青年のつながりをもっと広げたい、深めたいというものです。
阿智村の岡庭一雄村長さんに講師をしてもらい学習をしたり、班討論で意見交流をします。自分のことだけでなく、県内のことや県外での情勢や活動を知

この阿智村に行くという企画の趣旨は青年のつながりをもっと広げたい、深めたいというものです。
阿智村の岡庭一雄村長さんに講師をしてもらい学習をしたり、班討論で意見交流をします。自分のことだけでなく、県内のことや県外での情勢や活動を知

愛知県知事選挙及び名古屋市長選挙の結果について

2月6日投票で行われた愛知県知事選挙及び名古屋市長選挙、名古屋市長選の賛否を問う投票で、自治労連愛知本部が推薦した、どい敏彦候補と八田ひろ子候補は、京都や大阪をはじめ全国の自治労連の仲間支援もつけ奮闘しました。
どい敏彦候補及び八田ひろ子候補の勝利に向けて奮闘された多くの組合員の皆さんに厚く感謝を申し上げます。
選挙戦全体では、トブル投票という、過去に例のない異常なたたかいとなりました。
県知事選挙では、どい敏彦候補、蒲郡などいくつかの自治体で広がりをみせている「住宅リフォームの助成制度」など中小企業支援で若者の雇用の確保と内需を拡大するといった政策は、大義もあり、選挙戦後半ではマスコミからも中小企業支援の「どい候補」と言われるようになってきました。他の候補者が表現の違いはあれ、大企業を中心とした支援を基本とした「構造改革」路線の推進を競い合う中その違いは鮮明でした。

短期間ではありましたが八田候補を先頭に市民に訴えました。また河村市長が主導する市議会解散の賛否を問う住民投票では、名古屋革新市政の会として、憲法の二元代表制を否定する河村市長や「議員内閣制」を主張する動きにも反対を明確にし、憲法と地方自治を守る立場で奮闘しました。
とくに、選挙中に政府が発した「子ども・子育て新システム(案)」に多くの父母と保育関係者から、保育を金儲けにしないでほしい」という声寄せられ、選挙の経験がないという若い保育士さんたちが「何かお手伝いがしたい」と事務所を訪れるなど、八田さんへの期待の高まりも見られました。

名古屋市長選挙では、河村市長による突然の辞職のもと、自治労連名古屋ブロックは、市民生活アンケートや中小企業アンケートに寄せられた「青年に働く場を」「中小零細業者に仕事を」「保育や介護、医療の充実を」などの市民の声を名古屋市政に生かすこと、革新市政の会に結集

確保と内需拡大で景気回復をはかるなど、選挙戦で訴えてきた政策の実現のためにも市民・市民のみならずとも運動を強め、新知事と新市長がすすめる、中京圏構想をはじめ構造改革路線などの悪政を転換させ、住民本位の政治の実現をめざして名古屋市政選挙やいっせいで地方選挙で一層奮闘するものです。